

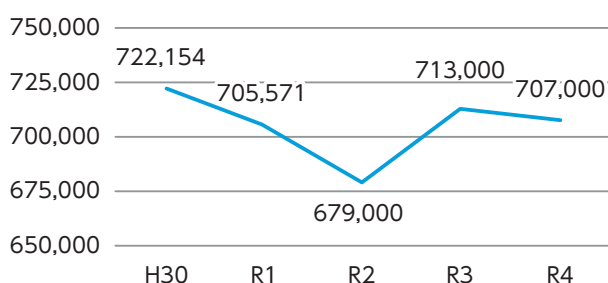
大項目
5

みんなが
きれいな環境と
安全安心な地域のなかで
助け合いながら暮らす
「快適なまち」

現状と課題

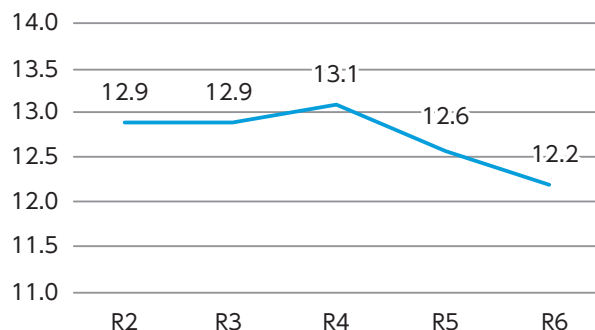
- ・自然災害の激甚化や頻発化により、本市が誇る豊かな自然環境や安全・安心な生活環境が脅かされています。これらは、地球温暖化に端を発する気候変動に起因すると考えられ、持続可能な社会の実現には、その要因となる温室効果ガスの排出量の削減が急務となっています。
- ・本市では「鹿沼市気候非常事態宣言」及び「2050年カーボンニュートラル※表明」を行い、気候が非常事態にあるという危機感を市民、行政、事業者等が共有し、脱炭素社会の実現に向けた取組を進めています。
- ・脱炭素社会の実現に向けた取組を進める上では、温室効果ガスの削減だけでなく、併せて経済の好循環を創出することにより、地域課題の解消や地域の魅力向上につなげ、関わる企業や地域にも利益をもたらす取組が求められています。
- ・多くの廃棄物処理施設は老朽化が進行し、安定稼働に向けた整備を進める必要があります。
- ・循環型社会の構築にあたっては、3R + ※の実践やごみ分別の実践など、市民及び事業者との協働による取組を推進する必要があります。

市全域における CO2 排出量の推移 (t-CO2)



出典：鹿沼市調べ

リサイクル率の推移 (%)



出典：鹿沼市調べ

重点施策

- ・公共施設への太陽光発電設備の導入や公用車のクリーンエネルギー化、木質バイオマスエネルギー※の導入検討と、エネルギーの地産地消の推進
- ・省エネルギーの推進に向けた公共施設の全照明 LED 化
- ・製品プラスチックや廃食油の再商品化などによる、資源循環とごみの減量化の推進
- ・廃棄物処理施設の適切な運営と次期クリーンセンター整備の推進
- ・再生可能エネルギー設備及び省エネ設備の導入支援

施策指標

No.	内容	単位	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
1	市全域の二酸化炭素排出量（国のシステムに基づき算出しているため、2年の時差が生じる。）	t-CO2 ※	707,000 (令和4年度)	493,878 (令和10年度)
2	リサイクル率	%	12.2	14.7
3	1人1日あたりの燃やすごみ排出量	g	526	514

大項目
5
「快適なまち」

施策の内容

施策展開	5か年の主な取組	
(1) 地域や住民と連携した脱炭素・資源循環	① 環境啓発の推進	・環境学習講座の開催 ・エコライフ・フェアの開催 ・「デコ活※」の推進 ・公共交通の利用促進
	② 市民協働による資源循環	・地域団体等への資源物回収報奨制度活用促進 ・新しい資源化に伴うリサイクルの促進
(2) 再生可能エネルギーの導入	① 設備導入支援促進	・再生可能エネルギー設備導入者への支援
	② 公共施設への導入推進	・太陽光発電設備の導入 ・グリーン電力※の活用 NEW! ・木質バイオマスエネルギー設備の導入 NEW!
	③ エネルギー転換推進	・電気自動車設備導入者への支援 ・公用車における次世代自動車の導入
(3) 省エネルギーの推進	① 省エネ設備の導入	・省エネルギー設備導入者への支援 ・事業者向け省エネ設備導入支援 ・公共施設における全照明LED化
(4) ごみの減量化と再資源化の推進	① ごみの減量推進	・ごみの適正処理にかかる周知啓発 ・3R+の推進
	② 再資源化の推進	・廃食油のリサイクル事業 NEW! ・製品プラスチックのリサイクル事業 NEW! ・生ごみ、剪定枝等のバイオマス資源の活用検討 NEW!
(5) 廃棄物処理施設の安定稼働と次期施設の整備推進	① 次期クリーンセンター及び最終処分場整備の検討	・施設整備基本構想の策定 NEW! ・施設整備基本計画の策定 NEW!

用語解説

- ※カーボンニュートラル：二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から森林などにより「吸収量」を差し引き、実質的にゼロとすること。
- ※3R＋：ごみを出来る限り減らす「3R」は、「Reduce（リデュース）＝ごみの発生を減らす」、「Reuse（リユース）＝くり返し使う」、「Recycle（リサイクル）＝資源として再利用する」。「＋」とは、このほか、より広範な環境配慮行動や持続可能性への取組を含めたもの。具体例として、「Refuse（リフューズ）＝不要なものを断る」、「Repair（リペア）＝修理する」、「Rethink（リシンク）＝見直す」、「Recovery（リカバリー）＝回収する」、「Renewable（リニューアブル）＝再生可能な資源に替える」等がある。
- ※木質バイオマスエネルギー：木質廃材や林地残材等を含む森林資源をボイラーで燃焼させることにより生み出された熱や電気エネルギーのこと。
- ※t-CO₂：二酸化炭素（CO₂）以外のメタンや一酸化二窒素などの温室効果ガスを、二酸化炭素の温室効果の強さに換算した値。
- ※デコ活：脱炭素の「DE（Decarbonization）」と環境に良い「ECO（エコ）」と活動・生活を組み合わせた造語。
- ※グリーン電力：太陽光、風力、水力、地熱、バイオマスといった自然エネルギーを利用して発電された電力。

関連 SDGs





第39回子どもが描く絵画展入賞作品

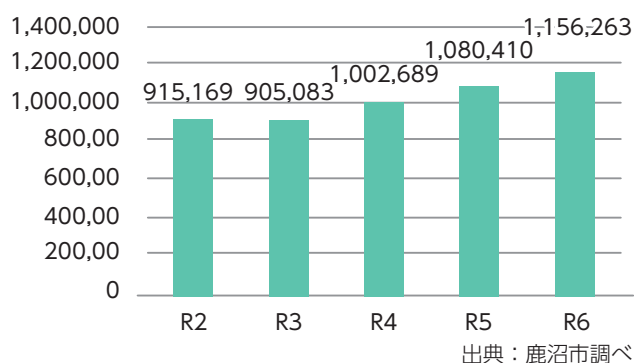


JR鹿沼駅東通り開通

現状と課題

- ・持続可能なまちづくりを進めるため、豊かな自然や歴史文化が息づく景観の保全と、地域経済の活性化、災害に強く快適で安心な生活環境の確保など、様々な要素の調和を図り、計画的な土地利用を推進しなければなりません。
- ・人口減少や超高齢化に伴い、都市のスポンジ化※が進行しているため、都市機能の集約による利便性の向上とコミュニティ機能の充実が必要です。
- ・また、広域道路網の充実や交通結節点機能の強化に加え、通学路等の生活道路の安全性を高め、快適な道路ネットワークを構築する必要があります。
- ・交通ネットワークの確立においては、特に移動制約のある市民の生活の足の確保が求められています。

公共交通利用者数（人）



重点施策

- ・総合的かつ計画的な土地利用の推進
- ・都市計画マスタープラン※の改定と用途地域の見直し
- ・スマートインターチェンジの整備推進と新たな広域連携軸の形成
- ・JR鹿沼駅東側をはじめ、通学路や幹線道路などの整備推進と快適な道路交通ネットワークの構築
- ・古峯原宮通りの整備等による宇都宮とのアクセス強化
- ・それぞれの地域の特性に合わせた移動手段の強化等、公共交通の充実
- ・UR や民間事業者等との協働によるリノベーションまちづくりと賑わいの創出

施策指標

No.	内容	単位	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
1	公共交通利用者数 (路線バス・リーバス・予約バスの利用者)	人	1,156,263	1,184,292

施策の内容

施策展開	5か年の主な取組	
(1) 地域の特性を生かした効率的な土地利用の推進	① 効率的な土地利用の推進	・土地の開発事業等に対する適正な指導等による総合調整 ・都市計画マスタープランの改定に合わせた用途地域等の見直し NEW! ・立地適正化計画の推進 ・地籍調査の推進
	② 地域特性を生かした土地利用の推進	・スマートインターチェンジの整備推進 NEW! ・新たな広域連携軸の整備推進 NEW! ・UR（独立行政法人都市再生機構）との包括連携協定に基づく公民連携によるまちづくりの推進【再掲】 ・外部人材活用による中心市街地の活性化 NEW! ・民間主導の事業と連携した東武新鹿沼駅前活性化の推進【再掲】
(2) 道路網の整備推進	① JR 鹿沼駅東側の整備	・交通結節点としての機能強化
	② 市道の整備	・幹線道路や地域間交流道路の整備 ・通学路や生活道路の整備 ・踏切道の拡幅 NEW!
(3) 公共交通の充実	① 効率的なバスの運行	・運行ルートや資源配分の最適化 ・AI オンデマンドバス※の導入 NEW! ・公共交通の DX 推進
	② 多様な移動手段の確保	・地域主体の新たな移動手段の導入支援 ・観光二次交通の拡充【再掲】 NEW! ・移送サービス、福祉有償運送等と公共交通の相互利用促進

用語解説

※都市のスポンジ化：都市の内部において、空き家、空き地等が、小さな敷地単位で、時間的・空間的にランダムに、相当程度の分量で発生すること及びその状態。

※都市計画マスタープラン：「市町村の都市計画に関する基本的な方針」を市民の意見を反映させ、市町村自らが定めるもの。

※AI オンデマンドバス：AI がリアルタイムで最適な運行ルートを計算し運行する乗合交通サービス。

関連 SDGs



現状と課題

- ・近年、災害が激甚化・頻発化し、自身や家族を自分たちで守る「自助」、近所や地域で助け合う「共助」、行政が行う「公助」、それぞれの防災力と互いの連携を強化する必要があります。
- ・大地震や風水害などの災害に備え、消防力や危機管理体制の強化が求められる中、地域防災の中核を担う消防団員の人員確保が困難な状況にあります。
- ・大雨による被害の減災に向けた総合的な治水対策を進めるとともに、市内 77 カ所の孤立可能性集落への対策を講じる必要があります。

重点施策

- ・いちごっこ防災クラブ※や女性防火クラブ※の活動支援
- ・地域防災力の向上を図るための防災士の育成、自主防災会の設立と活動の支援、消防団の強化
- ・防災拠点となる東部台防災多目的広場の整備
- ・消防体制強化のための消防施設・車両・設備の計画的な更新
- ・鹿沼工業団地の雨水対策や雨水幹線の整備
- ・河川の修繕など、総合的な治水対策の推進
- ・市内各地への防災倉庫と避難所の再配置
- ・孤立可能性集落への支援体制整備
- ・防災情報システムの充実

施策指標

No.	内容	単位	現状値 (令和 6 年度)	目標値 (令和 12 年度)
1	防災アプリ登録者数	人	6,251	10,000
2	地区防災計画の策定数	地区	9	60
3	消防団の充足率	%	90.9 (令和 7 年度)	93.5

施策の内容

施策展開	5か年の主な取組	
(1) 地域防災力の強化	① 防災対策の推進	・地域防災計画に基づく防災対策の推進 ・自主防災会の設立や活動の支援 ・地域防災のリーダーとなる防災士の養成 ・いちごっこ防災クラブの設立と活動支援 NEW! ・災害時要配慮者への支援【再掲】
	② 消防団の充実強化	・消防団地域防災力充実強化ビジョンに基づく消防団の活動支援 ・車両・施設等の計画的な更新
	③ 火災予防の普及啓発	・女性防火クラブの活動支援 ・住宅用火災警報器の設置促進 ・防火講話など啓発活動の実施
(2) 消防力の強化	① 消防体制の強化	・消防庁舎、各分署の災害対応力の強化 ・女性消防士の活躍推進 ・車両・資器材等の計画的な更新 ・消防通信体制の充実 ・防火水槽の整備など消防水利の確保
	② 救急体制の充実	・救急救命士の計画的な育成 ・応急手当の普及啓発 ・救急業務のDX推進 NEW!
(3) 危機管理体制の強化	① 防災基盤の強化	・(仮称) 広域防災倉庫の整備 NEW! ・東部台防災多目的広場の整備 NEW! ・避難所の再配置と資器材・備蓄の充実
	② 防災力の向上	・災害時応援協定などによる協力体制の充実 ・防災情報アプリなど情報発信手段の充実 ・孤立可能性集落の対策推進 NEW!
(4) 治水対策の推進	① 河川の維持管理	・河川の適切な維持管理 ・河川施設の予防保全型管理 NEW!
	② 雨水対策の強化	・鹿沼工業団地の雨水対策 NEW! ・雨水幹線の計画的な整備 ・総合治水対策の推進

大項目

5

「快適なまち」

用語解説

※いちごっこ防災クラブ：こどものころから『自分の命は自分で守る』という自助力を身につけ、あらゆる自然災害から命を守ることに繋げるとともに鹿沼市防災のシンボリック存在へと育成することを目的に令和8年度創設。

※女性防火クラブ：家庭における火災予防に関する知識の習得、地域全体の防火意識の高揚などを目的に、10地区の女性防火クラブ連絡協議会（中央地区、東部地区、北部地区、菊沢地区、東部台地区、北犬飼地区、東大芦地区、西大芦地区、板荷地区、南押原地区）で構成されている組織。

関連 SDGs



現状と課題

- ・住宅困窮者はもとより、若者や子育て世代の定住促進に向けた住宅支援が求められています。
- ・危険な空き家の増加は、倒壊や火災、不法投棄等、地域全体に悪影響を及ぼすおそれがあり除却を促進する一方で、優良な空き家の利活用を促進する必要があります。
- ・道路や上下水道等のインフラの老朽化が進んでおり、長寿命化を含む適切な維持管理が必要です。
- ・経済活動や観光事業等により美しい自然や地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼす問題が発生しており、規制条例制定のほか、大芦川流域の河川のオープン化と規制と緩和両面の取組を実施しています。
- ・ペットの放し飼いや野良猫への餌付けなどの飼育環境の悪化やクマ等野生鳥獣及び病害虫による人的・物的被害も拡大しています。
- ・悪質商法や特殊詐欺等の犯罪、悲惨な交通事故などの危険から、市民が自ら身を守るための対策が求められています。
- ・少子化や単身世帯の増加により、お墓に対するニーズは多様化しています。
- ・「多死社会」を迎える中、火葬需要の増加が想定されます。

重点施策

- ・快適な住まい整備の推進と居住支援
- ・市営住宅の適正管理と有効活用
- ・空き家等の適切な管理・除却と空き家バンクによる利活用の促進
- ・道路・橋りょう・公園の長寿命化計画に基づく適正管理と計画的な補修
- ・持続可能な上下水道事業の経営
- ・老朽化した上下水道施設等の計画的な更新
- ・協働・共創によるきれいなまちづくりの推進
- ・生活環境を守るための環境調査や事業許認可の実施
- ・ペットの適正飼養の推進やクマ等野生鳥獣及び病害虫の被害防止対策の実施
- ・警察や関係機関などと連携した防犯及び交通安全に関する啓発活動の推進
- ・永代にわたって市が管理する合葬墓の整備

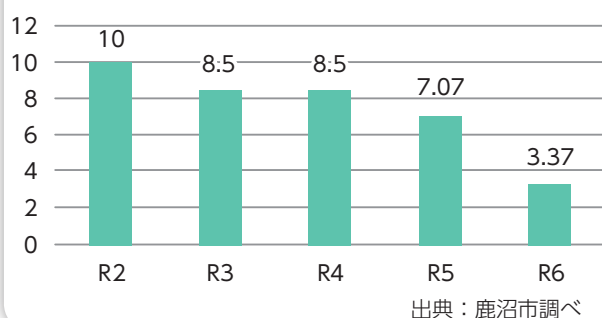
施策指標

No.	内容	単位	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
1	住宅耐震化率	%	90 (令和7年度)	95
2	有収率※ (水道事業)	%	79.1	80
3	重要管路耐震化率 (下水道事業)	%	47.0	63.2
4	空き家バンクリフォーム補助件数 (累計)	件	14 (令和7年度)	56

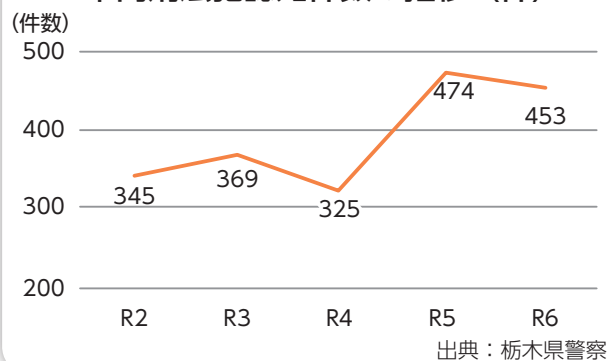
施策展開	5か年の主な取組	
(1) 住環境の充実	① 快適な住まい整備の推進	・ 住まい探しの困りごとを相談できる住宅総合窓口の設置 ・ 住宅リフォーム助成事業補助金による支援 ・ 木造住宅の耐震化への支援の拡充 NEW!
	② 居住支援の推進	・ 低所得者や高齢者等の住まい探しを支援する居住支援協議会の活動支援 ・ セーフティネット住宅、居住サポート住宅の登録促進と普及・啓発 NEW!
	③ 市営住宅の適正管理・有効活用	・ 公営住宅等長寿命化計画に基づく計画的な改修と用途廃止 ・ 市営住宅の空き室の目的外使用による有効活用
(2) 空き家の適正管理と利活用の促進	① 空き家対策の推進	・ 空き家解体補助金による危険な空き家等の除却の促進 ・ 空き家バンクや空き家バンクリフォーム補助金による利活用の促進 ・ 子育て世帯に対する空き家バンクリフォーム補助金の拡充 NEW!
(3) 道路・橋りょう・公園の長寿命化推進	① 長寿命化の推進	・ 各種長寿命化計画に基づく計画的な長寿命化 ・ 新技術の活用や定期点検の効率化
	② 予防保全型維持管理の推進	・ 計画的な補修による突発的な破損等のリスク低減及び大規模改修コストの削減 ・ メンテナンスコストの削減に向けた雑草抑制工事
	③ 市民との協働による維持管理	・ 道路愛護活動の支援 ・ 地域に密着した公共物の日常管理の促進
(4) 安定した上下水道サービスの提供	① 上水道事業	・ 経営戦略に基づく持続可能な経営 ・ 施設の老朽化対策及び耐震化の推進 ・ 高度浄水施設の整備
	② 下水道事業	・ 経営戦略に基づく持続可能な経営 ・ 施設の老朽化対策及び耐震化の推進
(5) 自然と調和した生活環境の充実	① 環境保全の推進	・ 大気・水質などの環境調査の実施 ・ 不法投棄対策の充実及び観光公害対策の実施・検証・見直し ・ 土砂の埋立や再生可能エネルギー設備の設置等の適切な規制 ・ ペット霊園等の設置及び適正管理
	② 市民との協働による環境保全	・ きれいなまちづくり推進員の活動支援 ・ 市民協働による環境美化の推進 ・ 動物の愛護及び飼育に関する普及啓発及び飼い主等によるペットの適正飼養推進
	③ 野生鳥獣・病害虫対策	・ クマによる野生鳥獣被害防止対策の実施 NEW! ・ 緊急銃猟の適切な実施 NEW! ・ クビアカツヤカミキリの被害防止対策の支援 ・ ヤマビル防除対策

施策展開	5か年の主な取組	
(6) 防犯・交通安全意識と消費生活の向上	① 防犯及び交通安全対策の推進	・警察や防犯協会等と連携した防犯啓発活動の実施 ・交通安全教室の実施 ・交通指導員の配置
	② 消費者行政の推進	・消費者教育と見守り、啓発活動の推進 ・消費生活相談窓口の充実
(7) 斎場・市営墓地の運営	① 斎場の適正管理と更新の検討	・火葬炉の計画的な改修 ・新たな斎場の整備基本計画策定 NEW!
	② 霊園・市営墓地の運営	・合葬墓の整備と管理運営 ・見笹霊園・市営墓地の適正な維持管理

大芦川流域の不法投棄物回収量（t）



市内刑法犯認知件数の推移（件）



用語解説

※有収率：浄水場で作った水量に対して、料金収入の対象となった水量の割合。この値が高いほど、効率的ということになる。

関連 SDGs

